

ますが、其父母はいつでも此子を叱るのに、すぐ  
体罰を用ふるそうで、しばつたり、打つたり、投  
げたりするといふ話でございませう。随分無茶なこ  
とでございませうが、此子の腕力と強情は、多分此  
体罰濫用の結果でございませう。

ある子供は、調子はづれて滑稽者で、何とも言  
はれない妙な動作を始終いたしまして、人が眞面  
目で言ふことも、まるで滑稽のやうに聞き流しま  
すが、之は全く其家庭に多くの小僧が居りまして、  
毎晩なぐさみ半分に此子をかからかつて、おもちゃ  
にするといふことが、原因らしいのでございませう。  
ある子供は、一寸見たところ、まるで小さい老  
女のやうで、其起居動作の静かなこと、言葉の大  
人らしいこと、遊の不活潑なこと、どうしても子  
供とは見えません、之は其家庭の一人の老人が、

此子を行儀のよい、しとやかな女にしようといふ  
ので、一から十まで小言を言ひ、一寸よこずわり  
をして、足をひねる、といふ風に、骨を折つて  
しつけた結果のやうでございませう。

昔いろは料理

石井泰次郎

(わの部)

若布まきいも拵へやう

さつまいも生にて切りたして、輪切にして、皮を  
むきて、わかめのゆでたるを以て、板の上になき  
葛粉かうどんの粉をふりかけて、一面につけて、  
いもをまきて、いとにても、竹串にても、そつと  
とめて、巻めのはぐれぬやうにして、鍋に入て煮  
るなり。

是はさつま芋、ながいも、自然薯にてつくる。

わらび漬のこしらへかた

蕨のやはらかさを、穂先の方ばかり、土つきたる軸の方を去りて、よろしき方を、鹽と灰をまぜたるを桶に入れて、其中につけおくべし。

さてつかふ四五日前に取出して、水に浸しおき、

四日後につかふ時、よく灰を洗ひ去りて、あつき湯をそゝぎかけて、つぎに椀もりなどに用ふべし。

わらびめしたきやう

わらびの莖わかき時、とりて細かにさざみ、灰湯につけて、よく煮て、後に水にとりて三日ばかりひたしおき、ゆりてきよく洗ひて、ぬめりを去り麥飯の中などに合せて、たくべし。

黄蘗豆腐の拵へやう

豆腐かためにつくりたるを、上下より板をあて

いおしをして、水を去り、かたくなるを、玉子焼なべにて、醬油のつけやきにして、小口切にして出すべし。

袖無羽織

岡本 ちか

三四歳位までの子供の羽織は、普通袖無となす、これ袖のあるものよりは軽く便利にて、且つ、割合に暖く、又切れも經濟になりて、子供の服には最も適すればなり、今爰に木綿幅にて表五尺一寸裏三尺のきれをもちて、二三歳の子供に適するものにつき其裁方、縫方のあらましを記す

一、裁切寸法

- 一、後丈一尺六寸
- 一、前丈一尺七寸
- 一、衿丈一尺八寸
- 一、衿幅二寸七分